

4. ご使用方法

- ① キャップ穿刺部を消毒用アルコールで拭いた後、アルコールが蒸発するまで待ちます。
- ② 19G以上の穿刺針を用いて必要量を採取します。

5. お手入れ方法（保守点検）

- ポートは、通常のライン洗浄で洗浄してください。次亜塩素酸の使用可能上限濃度は 1,000 ppm です。
- キャップは、最初の穿刺から1ヶ月以内に交換してください。それ以上経過すると穿刺跡で細菌繁殖の原因となります。
- 1ヶ月以内であっても、穿刺回数が10回に達したらキャップを交換してください。水漏れの原因となります。
- キャップは適時手で増締めして下さい。**高温薬液洗浄後は緩みがちです**ので、ご注意ください。
- ポートに錆が発生したら、直ちに新品と交換してください。強度低下、細菌繁殖の原因となります。
- バンドは経時劣化するため、毎年交換してください。

6. 保存方法

未使用のポート、キャップは結露しない清潔な場所に保存して下さい。

保存の目安：10～30℃の乾燥している室内



お問い合わせ先

コンタミレスサンプリングポート コンタミレスサンプリングキャップ 取扱説明書

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるよう保管してください。

1. 安全上のご注意

高温薬液洗浄対応品

ご使用前によくお読みの上、必ずお守り下さい。



警告：本製品は透析液のサンプリングを目的としたポートおよびキャップです。誤った使い方をすると、水漏れ事故や透析液細菌汚染をきたす可能性があります。

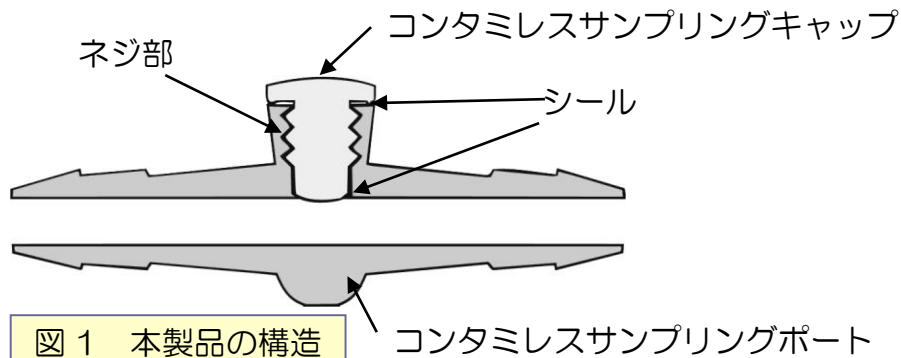
本製品は未滅菌です。装着直後に必ず洗浄・消毒を実施してください。

- 仕様に記載の耐圧上限を超える場所には使用しない。
液圧に耐えられず大量水漏れのおそれ。
- 透析液チューブはバンドで固定する。
チューブはずれによる大量水漏れのおそれ。
- バンドは毎年交換する。
バンド劣化による破損のおそれ。
- ポート本体に無理な力をかけない。
亀裂による水漏れのおそれ。
- キャップはペンチなどを用いて閉めない。
ネジ山がつぶれて水漏れのおそれ。
- キャップは使用後1ヶ月以内に交換する。
穿刺跡で細菌繁殖のおそれ。
- キャップ交換時にはネジ部に消毒液を塗る。
透析液細菌汚染のおそれ。
- 漏水警報装置を併用する。
大量水漏れによる浸水事故のおそれ。



2. 構造

本製品は透析液サンプリング時における透析液細菌汚染を防ぐため、図1のようにキャップのネジ部が完全にシールされています。ネジ部に消毒液をあらかじめ塗っておくことによって、キャップを閉めた後、細菌繁殖を抑えることができます。



仕様
ポート

材質 SUS316L / チューブ接続内径 6.4 mmφ もしくは 5.0mmφ

キャップ

材質 外套:ポリプロピレン 穿刺部:スチレン・エチレン・ブチレン

ブロック共重合体 / 穿刺部直径 6.0 mm

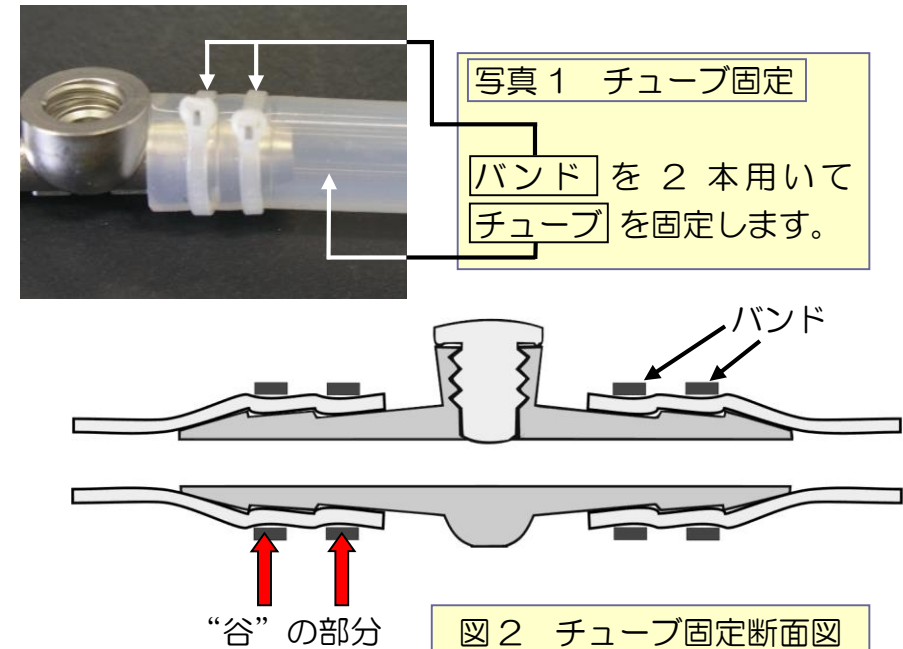
耐圧上限 1.2 kg/cm² (0.12 MPa) / 耐熱上限 90 °C

3. 装着方法

本製品は透析液用のサンプリングポートです。圧力のかかる逆浸透水ラインには装着できません。

- ① チューブを切断し、コンタミレスサンプリングポートを取り付けます。

- ② 写真1のように、チューブをバンド2本ずつでしっかりと固定します。
- ③ その際、図2のようにバンドがポート本体の“谷”部分へあたるようにしてください。



- ④ キャップは消毒液をあらかじめネジ部に塗ってから（写真2）”手締め”で装着します。
消毒用アルコールは樹脂変性をきたしますので、封入には使用しないでください。
装着後、装置全体を洗浄してください。

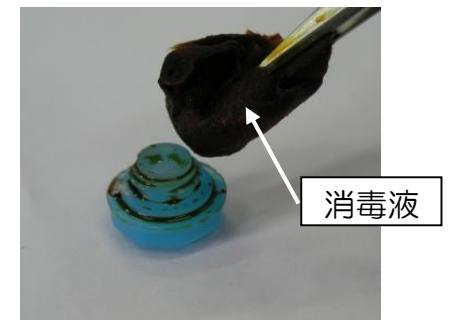


写真2 キャップへの消毒液塗布
イソジンなどを塗ってから装着します。